



令和3年度 知的財産権制度活用優良企業等表彰

知財功労賞 特許庁長官表彰

知財活用企業(特許)

株式会社シンテック

代表取締役社長 赤津 和三

会社概要

所在地 福島県いわき市錦町江栗前25
設立 1996年
資本金 60百万円
従業員 11人
事業内容 医療機器製造販売業

<http://www.syntec-jp.co.jp/>



受賞のポイント

- 過去の知財に関する苦い経験をきっかけに、知的財産権で技術を守る意識が芽生え、特許取得に加え営業秘密の管理などにも留意している。現在は、外部弁理士とタッグを組んで、知財を意識した事業体制を構築し、製品開発をする際には、弁理士が作成した特許マップを参考に事業戦略を立案している。
- Qualityの高い体内固定用ケーブルは、医療機器であるため、厚労省認可が必要で参入障壁が高いこと、ケーブルの構造等の特許化するとともに、ケーブルの撚り方などみえないところはノウハウにて保護することにより、3重に障壁を構築している。医療用途のため、他用途で使用されるケーブルと比較すると非常に利益率が高くなっている。
- 自社の知財の取組等について、福島知財活用プロジェクトにおける発表会や各種マスメディアでの掲載等を行うことにより、中小企業における知財活用推進に貢献している。また、東日本大震災に遭遇し、設備等が損壊する被害を受けるも、2カ月後には工場を再開しており、各種補助金を活用するとともに福島県立医科大学をはじめ、産官学連携による事業体制を確立することにより事業を推進している。



体内固定用ケーブル



他社体内固定用ケーブル製品



締結により中空ケーブルが帯状に変化する。Φ1.0mmが≒1.4mmに、帯状に変化する。締結力が局部的に掛からず腰椎に対し、ダメージが減少される。⇒低侵襲性治療となる。

体内固定用ケーブルの術例
(疑似腰椎による治療例)